

One Team プロジェクト

人吉高校 One Team プロジェクトのPR

総合的な探究の学習【BYH】One Teamプロジェクトについての探究

球磨工業高等学校 平成26年に「和綿の里づくり会」から依頼を受け、電動綿繰り機を製作し、南校高校に寄贈綿繰り機の定期的メンテナンス

南校高校 平成25年から「和綿の里づくり会」と和綿栽培開始

球磨工業高等学校より寄贈された無農薬栽培の和綿でクッションを作り、くま川鉄道や益城町の仮設住宅に寄贈

球磨中央高校 種まき、収穫への参加

One team のロゴの作成 和綿ハンカチ（タオル）の作成

球磨支援学校 令和5年より参加 高等部の生徒が和綿の種まき、生活単元学習で成長観察 つつじが丘学園 和綿の里づくり会事務局

マインド熊本と連携し、収穫した和綿を製品化 農福産学民の連携の中心拠点

マインド熊本 普及活動【製品化】

あすなり丘ふあーむ 障がいもった利用者が球磨工業高校が作った電動綿繰り機で綿繰り

須恵小学校・須恵保育園 須恵小学校・須恵保育園 小学生、保育園生が

種まき、収穫、綿の生育状況の観



One Team プロジェクトについてはQRコードにて
本校の探究活動BYH「ぎゃんとこ人吉ch」YouTubeで視聴できます。



5月 種まき
6月～7月 綿繰り機のメンテナンス
PR制作
8月 草刈り・シン止め
実践発表
9月 綿繰り機のメンテナンス
PR制作
10月～2月 和綿収穫 ⇒ 製品化
5月 種まき 11月 収穫



和綿栽培から見る村の人達の繋がり

～須恵村での和綿栽培～

2010年までは従業員自ら和綿栽培を行っていた
→2013年から地元の小学生や高校生、老人会や農家と協力!!
綿繰り作業を高齢者や障害者施設に委託!

様々な人を巻き込み繋がり合う活動へと発展!

～村の方々の声～

若者と一緒に活動するのが嬉しい。

人吉球磨全体で繋がることができている

～結果 和綿栽培の活動を通して～

11年間続けてきた活動を通して年齢や性別、障害の有無、地域を超えた人と人のつながりを築いてきた。

地域活性資源

マインド熊本さん訪問で分かった

地域活性と地域のつながり

・地域の子どもたちから高齢の方、人吉球磨の学校が和綿づくりに協力
→和綿を中心に人が集まる



赤ちゃん用帽子



靴下

女性用ナプキン



なんと!!
人吉高校創立100周年記念の記念品としてハンドタオルを製作していただきました。



「高校生の皆さんで

是非なにかいい商品を考えてほしい」

“和綿を生地にする際に費用がかかってしまう”

① 生地にする前の和綿のまま...

できるだけ低コストで作れるもの...

→羊毛フェルトならぬ

和綿フェルト!



幼稚園・保育園・小学校・中学校と私たちがつながる必要性とは

「つながる」→共通点を持つ
一緒に何かをする
和綿のことを知ってもらうことと定義

・保育園・幼稚園に和綿が与える影響

和綿を動物やアイスクリームなどに見立てて遊んでいる!



・保育園生や幼稚園生に和綿を知ってもらう方法
→紙芝居を作ることで知ってもらうのでは?

One Teamの意義

ワンチームとなることでもたらされる影響とは?

- ・アイデアが吸収できる
- ・より一層良い活動ができる
- ・タテとヨコのつながりが強くなる



地域の活性化とともに関わっている

人が幸せになることができる



持続可能な地域づくり

～sustainableな「和綿で輪になる地域」～

みんなに優しい!!そんな地域づくり!!

- ・少子高齢化の進行
- ・未来世代への責任
- ・過疎化
- ・担い手不足
- ・過疎化問題

これらも住み続けられる住みやすい町づくり



“マインド熊本”

人手が足りないので地域の保育園、小学校に協力を依頼
→地域活性化に繋がっているのでは?
人吉球磨の高校生にも参加してもらおう!

球磨工業高等学校に「電動綿繰り機」の作成を依頼
会社...効率が良くなった!!楽!!
高校...地域貢献ができた!!
互いにwin winの関係に!

“あさぎり町”

持続可能な地域づくりのための取り組み
→まち・ひと・しごと創生総合戦略
→「健康」と「幸福」を実感できるまち!

あさぎり町の総合計画に
出てほかの町で経験可能な
地域づくりができる!

【町への提案と現状】

1.子どもが生まれた家庭へ和綿製品のプレゼント

(現状) 支援金・シャボン玉石けん

(提案) 支援金・シャボン玉石けん・和綿のベビーグッズ



2.収穫のイベント化と情報発信の活性化

(現状) 小、高、特別支援、障がい福祉施設、老人会で行っている。
広報誌、ホームページでの情報発信だけ。

(提案) 収穫をイベント化したい!

たくさんの方々に和綿を知ってもらう

地域のイベントで売る

SNSでの広報活動

和綿で持続可能な地域づくりへ一歩前進!!!

【これらと和綿製品の製造を続けていくために】

「高校生の方でアイデアを!」

SNSでの発信!

この案を前向きに検討